

不具合事例

整理番号 T-01-003

タイトル	汚染土壌の運搬、処分は汚染土壌管理票を用いて確実に！		
工種	<input type="checkbox"/> 調査 <input checked="" type="checkbox"/> 対策	フェーズ	<input type="checkbox"/> 計画 <input checked="" type="checkbox"/> 作業中
対象汚染物質	第一種特定有害物質、第二種特定有害物質、第三種特定有害物質		
土地履歴	<input type="checkbox"/> 宅地 <input checked="" type="checkbox"/> 工場跡地 <input checked="" type="checkbox"/> 特定有害物質使用工場 <input type="checkbox"/> その他		
説明図	<p style="text-align: center;">「汚染土壌の取扱いは要注意！ 知らなかったではすまされない！」</p>		
作業内容	汚染土壌の掘削除去工事に伴う運搬作業		
使用機器	バックホウ、ダンプトラック等		
不具合事項			
<ul style="list-style-type: none"> 汚染サイトの浄化工事において、掘削した汚染土壌を外部に運搬する際に、誤って非汚染土壌を処理するルートで取り扱いそうになった。 			
予防措置(計画者、監督者、作業員)			
<ul style="list-style-type: none"> 汚染土壌の掘削、仮置き、運搬計画を明確にして、職員、作業員に周知徹底する。(計画者、監督者) 汚染土壌の搬出、運搬、処分には、管理票¹⁾を利用し、確実に搬出する汚染土壌の管理を行う。(計画者、監督者) 汚染土壌と非汚染土壌を掘削、運搬の際に取り違えることのないような管理システム(例えば、種類を色分けして識別、現地に汚染範囲を明示、運搬車両に汚染土壌であることを明示)を構築する。(計画者、監督者) 汚染土壌と非汚染土壌を間違えることのないよう注意して作業する。(作業員) 朝礼等で作業エリア、取扱い土壌の種類を確認する。(作業員) 			
応急措置			
<ul style="list-style-type: none"> 作業員は速やかに運搬車両の状況(時間、台数、ダンプの会社名、ダンプの特徴など)を責任者に報告する。 責任者は、直ちに該当する運搬車両に連絡し、現場にUターンさせる。 該当車両と連絡がつかない場合は、搬出先の処分場等(残土処分場、土捨て場)に連絡し、汚染土壌の混入を防止する。 			
その他、留意事項			
<ul style="list-style-type: none"> 土壌汚染対策法が適用された工事以外においても、汚染土壌を搬出する場合には、管理票を用いることが望ましい。 汚染土壌が非汚染土壌に混入してしまった場合は、直ちに関係者に連絡し、今後の対応を協議する。 			
関連法規等、出典	・1) 汚染土壌の運搬に関するガイドライン改訂第4.1版		
キーワード	汚染土壌、掘削、運搬、拡散、管理票、非汚染土壌		
発生頻度	<input type="checkbox"/> 多 <input type="checkbox"/> 中 <input checked="" type="checkbox"/> 少	重大性	<input type="checkbox"/> 致命的 <input checked="" type="checkbox"/> 重大 <input type="checkbox"/> 軽微

タイトル	汚染土壌の運搬、処分は汚染土壌管理票を用いて確実に！	
説明図	<p style="text-align: center;">「汚染土壌の取扱いは要注意！ 知らなかったではすみません！」</p>  <p style="text-align: center;">汚染エリア</p>	
作業内容	汚染土壌の掘削除去工事に伴う運搬作業	
指示事項	<ul style="list-style-type: none">朝礼等で作業エリア、取扱い土壌の種類を確認して、汚染土壌と非汚染土壌を間違えないよう注意して作業する。災害、事故等が発生した場合は、職長を通じて元請け職員に速やかに連絡すること。 <p>【その他の留意事項】 監督者は、汚染土壌と非汚染土壌を掘削、運搬の際に取り違えることのないような管理システムを構築しておく必要がある。(例えば、色分けによる種類の識別、汚染範囲を現地に明示、運搬車両に汚染土壌であることを明示など)</p>	
どんな不具合が起こりうるか？		
だから私たちはこうします		
本日の重点施策	ヨシ!!	
サイン		